

大幸薬品

4574 東証 1 部

2014 年 12 月 18 日（木）

Important disclosures
and disclaimers appear
at the back of this document.

企業調査レポート
株式会社フィスコ

■二酸化塩素による空間除菌製品の新市場創造に注目

大幸薬品<4574>は「正露丸」「セイロガン糖衣A」を中心とする医薬品事業と、空間除菌剤「クレベリン」シリーズを中心とした感染管理事業を展開している。

2015 年 3 月期の第 2 四半期累計（4-9 月期）業績は、売上高が前年同期比 13.9%減の 3,651 百万円、営業利益が同 32.7%減の 969 百万円となった。医薬品事業では、引き続き海外における販売が好調であるほか、国内も消費増税に伴う駆け込み需要の反動減から回復傾向となっている。一方の感染管理事業では、消費者庁関連報道の影響などがあったものの、7-9 月売上高は前期並みに回復してきている。

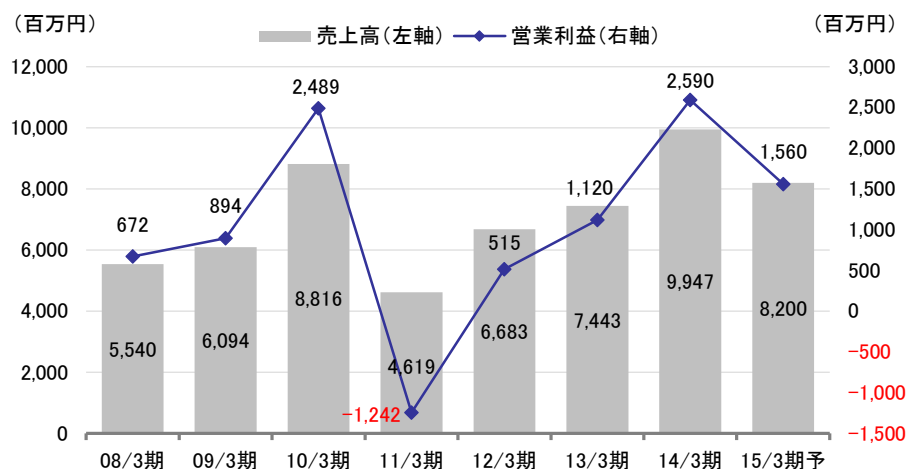
2015 年 3 月期の通期業績については、売上高が前期比 17.6%減の 8,200 百万円、営業利益が同 39.8%減の 1,560 百万円とする従来予想を据え置いている。第 2 四半期までの業績は計画を上回るペースで推移しているもようで、通期業績は計画上振れも期待されよう。

同社は二酸化塩素による空間除菌製品の更なる市場拡大を目指し、各種実証実験や製品開発を進めている。日本二酸化塩素工業会が安全性に関する自主基準を策定したことで、二酸化塩素ガスを用いた空間除菌の利用拡大が見込まれる。二酸化塩素はエボラウイルスへの有効性が期待されているほか、感染症を媒介する蚊の忌避効果も確認された。さらに、同社は安定した濃度の二酸化塩素を発生させることができる新装置「二酸化塩素発生ユニット」の開発を進めており、家電機器への組み込み、公共施設や交通機関などでの活用により新たな市場の創造が期待される。

■Check Point

- ・ 感染管理事業の 7-9 月売上高は前期並みに回復
- ・ 第 2 四半期までの業績進捗は順調、通期では計画上振れの可能性も
- ・ 二酸化塩素による空間除菌の市場拡大へ実証実験や製品開発を推進

売上高と営業利益の推移



■ 2015 年 3 月期第 2 四半期業績について

医薬品事業は海外販売が引き続き好調、国内も回復傾向に

2015 年 3 月期の第 2 四半期累計（4-9 月期）業績は、売上高が前年同期比 13.9%減の 3,651 百万円、営業利益が同 32.7%減の 969 百万円、経常利益が同 25.5%減の 1,080 百万円、四半期純利益が同 37.1%減の 702 百万円となった。医薬品事業では利益はやや減少したものの、売上は引き続き堅調に推移した。一方、感染管理事業では前年同期における特需の発生、前期末における消費者庁関連報道の影響が大きかった。なお、同社は 6 月に措置完了報告書を消費者庁へ提出、受理されており、措置命令への対応は完了している。

セグメント別では、「正露丸」「セイロガン糖衣A」「その他医薬品」で構成される医薬品事業の売上高が前年同期比 0.2%増の 3,047 百万円、営業利益が同 9.7%減の 1,342 百万円となった。海外販売については同 5.6%の増加となり、医薬品事業の業績をけん引した。地域別では、中国向けは出荷時期変更の影響で減少したものの、香港向けが同 16.1%増、台湾向けが同 40.1%増と高い伸び率を維持している。また、円安効果も増収に寄与した。

国内販売については前年同期比 1.8%減となったが、消費増税に伴う駆け込み需要の反動減からは回復傾向にある。商品別には、「正露丸」が同 0.4%増、「セイロガン糖衣A」が同 1.1%減となった。なお、セグメント利益は減益となったが、広告宣伝の強化やセグメント別の売上構成比の増加（感染管理事業の売上高減少による）に伴う人件費配賦率の上昇など、コスト負担の増加が背景となっている。

2015 年 3 月期第 2 四半期累計業績

（単位：百万円）

	14/3 期 2Q 累計		15/3 期 2Q 累計		
	実績	構成比	実績	構成比	増減率
売上高	4,243	—	3,651	—	-13.9%
売上原価	1,206	28.4%	910	24.9%	-24.6%
売上総利益	3,036	71.6%	2,741	75.1%	-9.7%
販管費	1,597	37.6%	1,772	48.5%	11.0%
営業利益	1,439	33.9%	969	26.5%	-32.7%
経常利益	1,449	34.1%	1,080	29.6%	-25.5%
四半期純利益	1,116	26.3%	702	19.2%	-37.1%

2015 年 3 月期第 2 四半期セグメント別業績

（単位：百万円）

	14/3 期 1Q 累計	15/3 期 1Q 累計	
	実績	実績	増減率
売上高合計	4,243	3,651	-13.9%
医薬品事業	3,042	3,047	0.2%
感染管理事業	1,189	590	-50.4%
その他事業	11	13	19.1%
営業利益合計	1,439	969	-32.7%
医薬品事業	1,486	1,342	-9.7%
感染管理事業	507	181	-64.1%
その他事業	(9)	(12)	—
全社*	(545)	(542)	—

* 全社に係るコスト（主に管理部門コスト等）



大幸薬品

4574 東証 1 部

2014 年 12 月 18 日（木）

正露丸



セイロガン糖衣 A

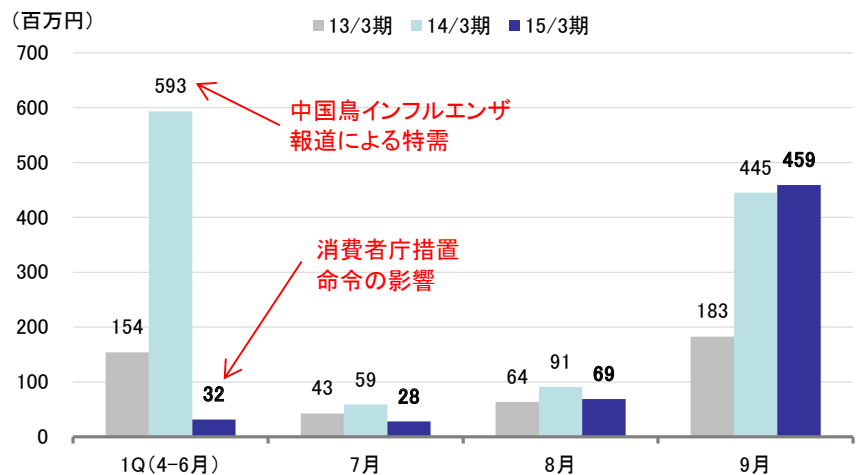


感染管理事業の 7-9 月売上高は前期並みに回復

空間除菌剤「クレベリン」シリーズの製造・販売を展開する感染管理事業の売上高は前年同期比 50.4% 減の 590 百万円、営業利益は同 64.1% 減の 181 百万円となった。消費者庁関連報道の影響に加え、前年同期に中国で鳥インフルエンザ報道を背景とした特需が発生した反動もあって減益での着地となった。対象顧客別では、一般用が同 55.2% 減、業務用が同 37.4% 減だった。

但し、グラフのとおり、感染管理事業の売上高（出荷ベース）は 7-9 月において前期並みに回復しており、9 月単月については前年同月を上回る結果となった。消費者庁からの措置命令によって良品が選ばれる傾向となり、結果的に類似品の淘汰が進んだようだ。積極的な信頼回復活動も奏功し、同社製品はドラッグストアなどからの引き合いが強く、店頭での販売スペースも拡張されるケースが増えているようだ。

感染管理事業売上高推移





大幸薬品

4574 東証 1 部

2014 年 12 月 18 日（木）

クレベリン ゲル



クレベリン スプレー



車両用クレベリン



※株式会社デンソーと協同開発した製品。車室内に濃度を最適化した二酸化塩素を発生させ、最適な風量・風向で、車室内全体に効率的にクレベリン成分（二酸化塩素）が拡散し、洗浄が困難なシートや車室内の除菌・消臭を行うもの

クレベリン発生機 リスパス NEO



■ 2015 年 3 月期通期業績見通しについて

第 2 四半期までの業績進捗は順調、通期では計画上振れの可能性も

2015 年 3 月期の通期業績については、売上高が前期比 17.6%減の 8,200 百万円、営業利益が同 39.8%減の 1,560 百万円、経常利益が同 41.9%減の 1,560 百万円、当期純利益が同 42.7%減の 1,000 百万円とする従来予想を据え置いている。

他方、ここまでの業績は計画を上回るペースで推移しているもよう。感染症流行期の販売動向にもよるが、通期業績は計画上振れとなる可能性もある。

2015 年 3 月期通期業績予想

（単位：百万円）

	13/3 期	14/3 期	15/3 期		15/3 期 2Q 累計	
	実績	実績	予想	増減率	実績	進捗率
売上高	7,443	9,947	8,200	-17.6%	3,651	44.5%
営業利益	1,120	2,590	1,560	-39.8%	969	62.1%
経常利益	1,211	2,683	1,560	-41.9%	1,080	69.2%
当期 / 四半期純利益	1,037	1,747	1,000	-42.7%	702	70.2%

■ 感染管理事業の現状と今後

二酸化塩素にはエボラウイルスへの有効性や蚊の忌避効果も

同社は二酸化塩素による空間除菌製品のリーディングカンパニーとして更なる市場拡大を目指し、各種実証実験を重ね、新製品の開発を進めている。

(1) 二酸化塩素ガスの新たな用途

アフリカでエボラ出血熱の犠牲者が拡大している。西アフリカ 3 ヶ国の感染者数は 11 月 25 日までに 16,000 人に達し、うち約 7,000 人が死亡した。また、アメリカでも感染者が確認されるなど、国際的なヒト・モノの移動が活発な現代では爆発的な感染拡大も懸念されている。

エボラウイルスはエンベロープ（膜で包まれた構造）を有する 1 本鎖 RNA ウィルスで、その構造上インフルエンザウイルスと同一のカテゴリーに位置付けられる。エボラウイルスに対する実験は出来ないものの、同構造のインフルエンザウイルスなどに対しては、二酸化塩素ガス溶存液の有効性を確認できる同社実験結果がある。このため、エボラウイルスに対しても有効性があると推測され、日本国内でエボラ出血熱への懸念が広まるようなことがあれば、二酸化塩素ガスへの注目は飛躍的に高まることが期待される。

99.9%以上各種ウィルスを除去させる二酸化塩素濃度・時間

ウィルス	エンベロープ	ゲノム核酸	二酸化塩素		次亜塩素酸ナトリウム	
			濃度 (ppm)	作用時間 (秒)	濃度 (ppm)	作用時間 (秒)
インフルエンザウイルス	あり	1 本鎖 RNA	1	15	100	15
ジステンパーウイルス	あり	1 本鎖 RNA	10	15	100	30
麻疹ウイルス	あり	1 本鎖 RNA	10	30	100	30

※鳥取大学農学部、大幸薬品など。同社資料より転載

2014 年 12 月 18 日（木）

また、二酸化塩素ガスには、マラリア、西ナイル熱、日本脳炎、デング熱などの感染症を媒介する蚊に対する忌避効果も確認されており、同社は関連する特許を自治医科大学と共同取得した。今後、この用途での製品化も期待されるところである。

二酸化塩素ガスの安全基準策定で利用拡大に期待

(2) 日本二酸化塩素工業会の自主基準策定

一般社団法人日本二酸化塩素工業会は 2014 年 3 月、「二酸化塩素ガス 室内濃度指針値」を発表した。「二酸化塩素ガスを一生涯にわたって吸い続けても健康への有害な影響がない濃度」として「0.01ppm」と定めており、二酸化塩素ガスが発生する製品を安全に利用するための世界初の取り決めとなる。

基準濃度で菌・ウイルスの低減効果がどの程度あるのかが気になるところだが、同社は浮遊黄色ブドウ球菌及び浮遊大腸菌ファージ ϕ X174 を 99% 以上低減する効果があると日本防菌防黴学会にて発表している。

同社は安全性に関する自主基準が策定されたことで、二酸化塩素ガスを用いた空間除菌の利用機会が加速するとの見解を示している。企業や消費者から寄せられる二酸化塩素ガス製品についての疑問を解消でき、二酸化塩素を使った空間除菌に対するニーズがさらに増すことが考えられる。また、長時間連続して空間除菌をすることが望ましい公共性の高い施設や病院・老健施設での利用拡大も見込まれる。

二酸化塩素発生ユニットで新たな市場を創造へ

(3) 新装置「二酸化塩素発生ユニット」

同社では、新たな空間除菌装置として「二酸化塩素発生ユニット」の開発が進んでいる。これはスイッチのオン・オフで、低濃度の二酸化塩素ガス発生を安定的に制御できる装置であり、早ければ来期中をめどにビジネス化を目指しているようだ。

例えば、家電に組み込み空間除菌機能を付加するといった活用が検討されており、メーカー側との話し合いが持たれているもよう。家電メーカー側としても、大きなコストアップにならず、製品の高付加価値化につながることから引き合いは強いようだ。

また、二酸化塩素発生ユニットは濃度保持に優れていることから、多くの人が集まる公共施設や交通機関など、新たな市場の創造を目指していく方針だ。既に同社は感染症対策として行政への提案も行っているとしている。これらの施策が順調に進捗することで、中長期的にも業容の飛躍的拡大へ期待が高まる局面を迎えるだろう。

ディスクレーマー（免責条項）

株式会社フィスコ（以下「フィスコ」という）は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。“JASDAQ INDEX”の指数値及び商標は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり一切の権利は同社に帰属します。

本レポートはフィスコが信頼できると判断した情報をもとにフィスコが作成・表示したのですが、その内容及び情報の正確性、完全性、適時性や、本レポートに記載された企業の発行する有価証券の価値を保証または承認するものではありません。本レポートは目的のいかんを問わず、投資者の判断と責任において使用されるようお願い致します。本レポートを使用した結果について、フィスコはいかなる責任を負うものではありません。また、本レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本レポートは、対象となる企業の依頼に基づき、企業との電話取材等を通じて当該企業より情報提供を受けていますが、本レポートに含まれる仮説や結論その他全ての内容はフィスコの分析によるものです。本レポートに記載された内容は、資料作成時点におけるものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、事前にフィスコへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは強く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは強く禁じられています。

投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

株式会社フィスコ